

【科目名】 4. 植物利用		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 22.5時間	
【主任教員】 ○横田 優子 (9)		
【分担教員】 田中 あずさ (3) , 堀江 由美 (3)		
【授業のねらい】 園芸療法対象となる人の特性 (心理・精神・身体・社会性など) を考慮して植物を利用する知識や技術を身につける。		
【日程】	【担当教員】	【授業予定】
6/18 (土) 3-5限	横田 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法セッションの中で, 対象者が植物の美しさに触れ, 魅力を感じながら, 創造活動の楽しさを味わえるようなプログラム提供に必要な知識・技術を学ぶ ● 園芸療法における創造活動の意味: 栽培プログラムとの違い, エピソード記憶や手続き記憶の想起, 認知機能低下予防プログラムと認知症高齢者向けプログラム ● 園芸療法における創造活動プログラムに求められること: 安全性, 作業の単純さ, 高品質, 選択の自由, ポジティブ思考, 適度な所要時間など ● 園芸療法セッションにおける植物選びのポイントを学ぶ: 植物と色彩, 花壇の色彩, 色彩の基本的知識 * 寄せ植えによる草花の配色の実際は「ガーデニング」で指導 ● 園芸療法プログラムについて学ぶ (1) : ● ①フラワーアレンジメント[実習: 牛乳パックを使ったラウンド型 (ドーム型) フラワーアレンジメント]
7/16 (土) 1-3限	田中 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 植物 (ハーブ) の利用に関する知識と技術 (活用方法) を身につける ● 園芸療法ガーデンにて下記①~③の実習 ① ハーブの育て方, 管理の仕方 (手入れと殖やし方) ② ハーブの収穫と処理・保存法 (部位別採取の仕方) ③ ハーブの魅力 (花色・香り・葉の色・形状) 等を体感 ● ハーブの利用法 ● ハーブの組合せの注意点 ※授業では, 気づきや感想を書いてもらうことがあります。
8/20 (土) 3-5限	堀江	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法に必要な色彩基礎を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・色の働き [軽重感、遠近感、温度感] ・BY概論 {自分が本来持っている色がある} ・色彩生理 {血流促進の色、ストレス解消の色等} ・言語イメージの理解と色彩 ・伝統色と共にある日本人 ・高齢者と五感の重要性 ・園芸療法士と色彩
9/17 (土) 3-5限	横田 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法プログラムについて学ぶ (2) : ① 押し花 (作り方・保存法, 実習: 押し花コースターづくり) ② ドライフラワー・木の実の利用 (ドライフラワーの作り方, 実例紹介, 実習: 千日紅と松ぼっくりのワイヤリング) ③ 芝人形 (スライド: 作り方, 実習: 芝人形づくり) ※授業では頭部のみ作成。ボディ部分は授業後自宅で仕上げ, 栽培し, 生育状況のレポート (写真添付) を提出

12/10 (土) 1-3限	横田 【予習課題あり】	<ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法プログラムについて学ぶ (3) : <ul style="list-style-type: none"> ① リース (スライド: 事例紹介, 実習: ローズマリーのリースづくり) ② 葉っぱペイント (作り方, 事例紹介, 実習: 葉っぱペイントのエコバッグづくり) ● まとめ (プログラム計画, セッション運営に必要な知識を学ぶ) : <ul style="list-style-type: none"> ・ 園芸療法セッションにおける環境設定 (ディスカッション) ・ 季節行事とプログラム, 現場紹介, 計画に役立つ情報収集, 創造活動における留意点など
【予習課題】	横田	<p>【第1回講義 (6/18) までに】</p> <p>① PCCS*色相環の色相の配列を覚えておく。</p> <p>② 色の3属性 (色相・明度・彩度), 有彩色・無彩色の意味, 暖色・寒色・中性色について理解しておく。</p> <p>※6/18 (土) の第1回講義では, ①②について理解していることを前提に授業を進めます。しっかり予習しておいて下さい。</p> <p>*PCCS: 日本色研配色体系 (Practical Color Co-ordinate System)</p> <p>③ 所定 (配布) の様式に従い, 植物の特性を分類しておく。 (提出期限: <u>5/19 (木) 必着</u>。TAへ)</p> <p>※各項目ともリストアップする植物名は最多で3個とします。</p> <p>【第2回講義 (9/17) までに】</p> <p>④ 身近な植物で押し花/押し葉を作っておく。 (3~5種類程度: 色・大きさなど, 異なるもので作ってみて下さい。春先のビオラ, バーベナ, クローバーなどは花色/葉色も豊富で作りやすいです。)</p> <p>※9/17 (土) の第2回講義には作った押し花・押し葉を持参して下さい。</p> <p>授業では小さめの押し花/押し葉をラミネートしてコースターを作ります。薄めの (厚みのない) 押し花をご用意下さい。</p> <p>【各回講義に先立って】</p> <p>⑤ 各回講義の実習に関する資料は事前に配布します。授業当日までにしっかり目を通して置いて下さい。</p> <p>※事前配布資料については各講義冒頭で小テストを行います。</p> <hr/> <p>レポート (A4サイズ3~5枚程度, 提出期限: <u>6/16 (水) までにTAへ</u>)</p> <p>PDF資料「園芸療法のための利用目的からみた淡路島および淡路景観園芸学校の有用植物・ハーブリスト」を読み, 表2. 用途別ガーデンとハーブ例の中から興味のある用途のハーブ (記載されているものすべて) について, 開花期・草丈・利用部位・特徴・収穫方法 (収穫して利用するハーブが対象) をまとめてください。各ハーブに写真を貼り付けてもよい。</p> <p>なお, 収穫方法については, PDF資料「実践にもとづくハーブの効果的な収穫・保存法」を参考にし, 収穫方法がわからない場合, 質問がある場合は, レポートの最後に【質問】として記載してください。</p>
	田中	

<p>【参考図書】</p>	<p>横田</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「高齢者のリハビリ園芸クラフト—季節の植物でかんたん手作り作品」 (いばらき園芸療法研究会 登坂ユカ監修, QOL サービス, 2009年) ● 「徹底図解 色のしくみ」 (城一夫編著, 新星出版社, 2009年) ● 「色彩検定公式テキスト UC 級 (2022年改訂版)」 (内閣府認定 公益社団法人 色彩検定協会, 2022年) ● 「ひと鉢でかわいい 多肉植物の寄せ植えノート」 (黒田健太郎・永福綾子著, 家の光協会, 2013年) ● NHK 趣味の園芸 8月号 No.581 (大特集テラリウム&アクアリウム) (2021年, NHK出版) ● 「花色レッスン&コーディネート BOOK」 (中山正範・室谷優二著, 主婦の友社, 2006年) ● 「花育親子で楽しむ花アレンジメント」 (谷川圭子著, ブティック社, 2008年) ● 「NHK おしゃれ工房 暮らしの押し花」 (柳川昌子著, 日本放送出版協会, 2005年) ● 「押し花で楽しむリサイクル雑貨」 (杉野宜雄・花と緑の研究所著, 日本ヴォーグ社, 2000年) ● 「あなたの庭の草花で作る KANTAN でもステキなドライアレンジ」 (青木純子著, 淡交社, 2002年)
	<p>田中</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ハーブと精油の基本事典」 (林真一郎, 池田書店) ● 「ハーブの育て方145種」 (桐原春子, 成美堂出版) ● 「ハーブの花図譜 (カラーチャート)」 (星野登志子 (絵) / 桐原春子 (解説), 成文堂新光社)
<p>科目担当教員以外からの推薦図書</p>	<p>豊田</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポタニカルアートで楽しむ花の博物図鑑, 土橋豊, 淡交社 <p>ポタニカルアートを通して、作者が植物のどこに美しさを感じたのかがよくわかります。植物の美しさに気づく感性を養うためにもお薦めします。</p>
<p>【成績評価の方法】</p>	<p>横田</p> <p>予習課題, 授業内小テスト, 実習作品, 講義後の課題 (配色・芝人形写真レポート・まとめレポート) により総合的に評価します。</p> <p>※講義後の配色課題は6/18の講義後に, 芝人形レポート課題は9/17の講義後に, まとめレポート課題は12/10の講義後にお知らせします。</p>
<p>【受講生への連絡・希望】</p>	<p>横田</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 単なる知識・技術の習得にとどまらず, 皆さん自身が植物の美しさ・魅力を感じ, 楽しむことが大切です。日頃から雑誌や植物図鑑, カタログ等をめくって, 植物, 配色, クラフトアイデアなどについてイメージを膨らませておいて下さい。 ● プログラムを体験して頂くほか, 現場のようすもスライドで紹介しますので, 作品づくりを通して得られる気づきだけでなく, 対象者の反応, 環境設定, 場の雰囲気など多面的に学んで頂きたいと思えます。 ● 盛りだくさんの内容になっています。理解を深めるため, 事前学習に加え, 問題意識を持ち, 積極的な授業参加をお願いします。 <p>田中</p> <p>園芸療法活動時に, 学習したことを活用して下さい。その他, 植物図鑑・ハーブ図鑑などを参考に, 色々なイメージを膨らませて, <u>発想力や企画力が身につくように</u> 努力して下さい。</p>